

スタイルワゴンクラブ vol.145

2010年2月号(毎月1日発売)12月26日発売 第13巻第2号

特別付録

KING OF WAGON

オリジナル  
カレンダー2010

# STYLE WAGON Club

2 スタイルワゴンクラブ  
2010 FEBRUARY 650円



# V.I.P 新時代

最新スタイル研究

行き着く先は...  
やっぱりV.I.P



丸わかりガイド 低いまま走る&快適ローダウンの必需品 車高調

流行はここから始まる 東京オートサロン2010開幕

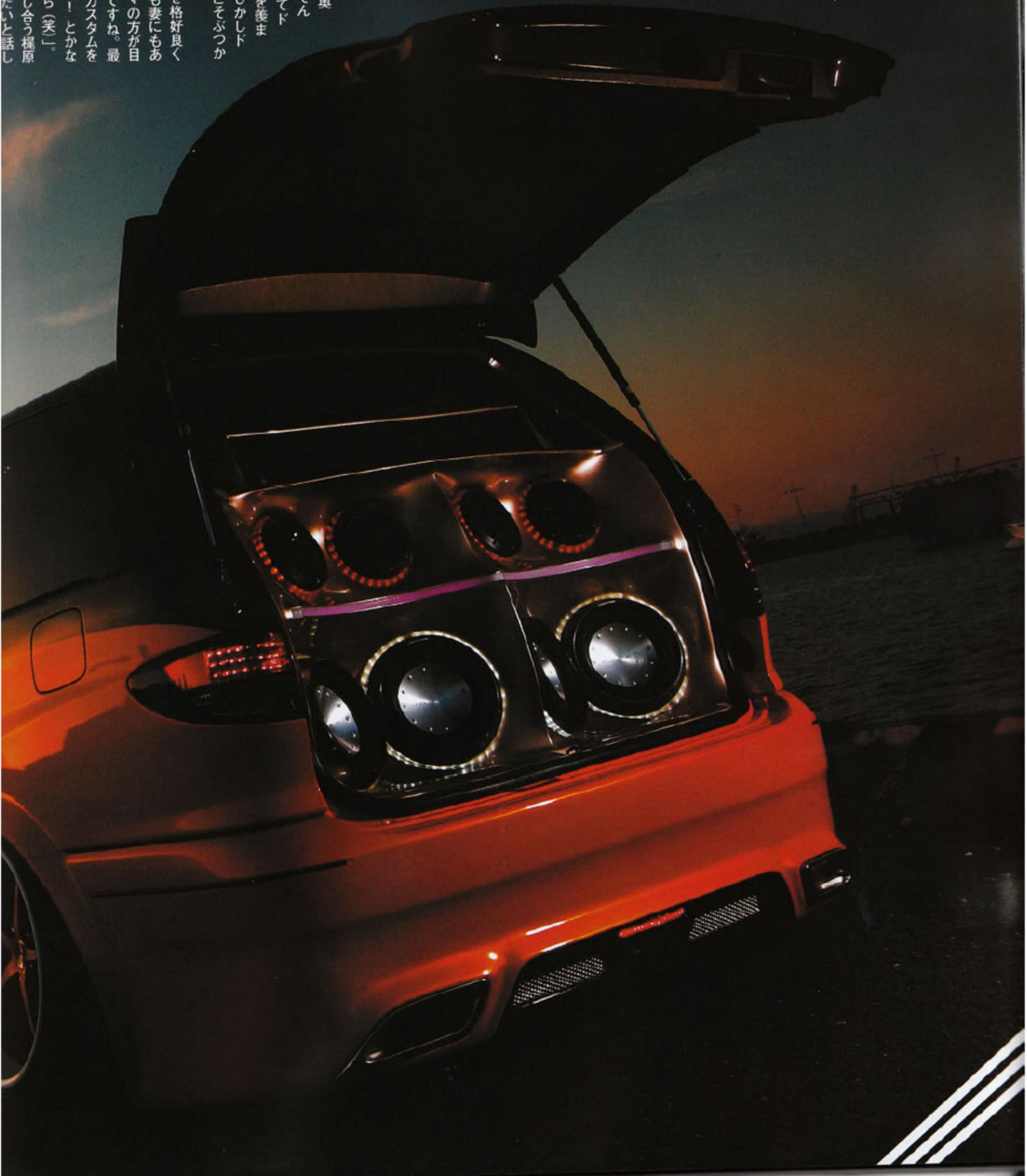
ドレスアップを通じて知り  
合い、そして結婚した梶原夫  
妻。

「毎週末、ナイトミーティン  
グに出かけているんなチー  
ムの方と交流してました。  
そこで知り合ったのが妻  
で、ドレスアップへのこ  
だわりや考え方、いろん  
な部分で共感できること  
が多かった。もちろんク  
ルマ好きという理由だ  
けではありませんが、  
同じ趣味を共有できる  
というのは、一緒に生  
活していくなかですこ  
く大きい」。そう話すこ  
主人の誠一さん。

ミニバンの場合、基本  
的にはファミリーカーと  
して購入する人が多い。  
そのためドレスアップする  
ために奥様のご機嫌を伺う  
(!? ) パバたちも数多い。つ  
まりドレスアップ反対派の奥  
様を説得するということ。そん  
な人から見れば、夫婦揃ってド  
レスアップを楽しむ梶原家を羨ま  
しく思う人もいると思う。しかしド  
レスアップ好き同士だからこそぶつか  
り合う部分もいろいろある。

「根本的には自分のクルマを格好良く  
したい。という考え方が僕も妻にもあ  
ります。だから自分のクルマの方が目  
立ちたい！ 気持ちが強いですね。最  
初に全塗装した嫁のムーウカスタムを  
見た時に、これじゃやばい！ とかな  
りショックを受けましたから(笑)」。

リメイクの度に必ず相談し合う梶原  
夫妻。当然奥様が全塗装したいと話し





OWNER  
梶原誠一さん  
[愛知県]

2010年の目標は、奥様のムーヴカスタムと一緒に多くのイベントにエントリーすること。しかし唯一の悩みが「2台で移動すると、僕がいつも一人になってしまいちょっと寂しいです」と梶原さん。

「最初はフェアレディZのオレンジも考えたんですが、明らかにガヤルドのオレンジは質感が違う。クルマを持つオーナーもあると思いますが、存在感が段違い。これなら妻のムーヴカスタムと並んでも勝てるんじゃないかと思って決めました」。

そしてガヤルドオレンジをベースにしながら、ディテールも徹底した作り込みが施された。

「自分が意見して言うのもなんなんですが、とにかく妻のムーヴカスタムが目立つんです。イベントに行っても色がキレイと評判がいい。だから色は重要なんだと」。

まず最初に考えたのは当然カラーリング。

「最終的に決まったのがデミオ純正のグリーン。オールベンで一新されたムーヴカスタムはとにかく目立ち、当時ガンメタだったご主人のエスティマはどちらかというと引き立て役。結果的にはムーヴカスタムの全塗装をきっかけに、エスティマのフルメイクがスタートした」。

## MONTHLY COVER CAR



# 今月の表紙車

# TOYOTA ACR30 ESTIMA

KAJIHARA SEIICHI

# 全ガ勝 塗ヤ負の 装ルの ド・オ

## 妻は良き理解者であり 時にはライバル……

最初にオールベンしたのは奥様のムーヴカスタム。それまではご主人のエスティマが注目されていたが事態は一変。イベントにエントリーしても、ドレコンの成績は一步リードされる日々。妻の愛車だけには負けたくない! そんな強い決意がこのエスティマに注ぎ込まれた。

PHOTO: 長谷川 徹



### 奥様の愛車は L150ムーヴカスタム

ご主人のエスティマと同じく、ケイブレイクのエアロでメイクされた奥様のムーヴカスタム。鮮やかなグリーンカラーはデミオ純正色でオールベンされている。広い駐車場に止めていても、息子の運くんは「ママのクルマ!」とすぐ走っていくほど目立つ存在だ。



1.フル一体式デザインを採用するケイブレイクのフロント。そのグリルラインに沿って、ボンネットにプレスラインとガンメタラインを追加している。2.後期純正を移植したヘッドライトにはV35スカイラインの純正プロジェクターレンズが埋め込まれる。3.ケイブレイクとモードバルファムの16アリスト用をニコイチしたフロント。モードバルファムのエアロデザインを強調するため、フォグまわりをガンメタで塗り分ける。4.ヘッド&フォグともにライトはHID仕様。

梶原さんがドレスアップをはじめた当初から、こだわり続けているスタイルがある。ポリウム満点のフルエアロ、オーバーフェンダー、そして低車高で作り出すVIPスタイル。

はじめて組んだエアロは張り出し系デザインのスピリッツ。以来何度も仕様変更を繰り返してきたが、核になるVIPへのこだわりは決してブレない。ケイブレイクとモードバルファムの16アリスト用をニコイチしたバンスポも、ボトム先端をさり気なく前方へ尖らせたり、バンスポ自体の厚みを十分に確保することで、いま風のテイストを与えつつ、重厚なフォルムを打ち出している。そして何よりも、VIPを象徴するオーバーフェンダーの作り込みには気合いが入る。

まずは形状。オーバーフェンダーといっても形はイロイロある。梶原さんは「とにかくワイド感と存在感を強調したい」と、アーチ形状がくっきりわかるラインで製作。ホイールリムとフェンダーアーチが重なりあうようなくっきりとしたラインを与えることで、アグレッシブなサイドビューを演出。そして前後ともに徹底したのがフェンダーラインの絞り込み。フェンダー上部からバンスポへ向かい、内側へ絞り込むラインを強調。タイヤのトレッド面をみせることで、VIPの象徴ともいえるキャンバルックをアピール。ホイールも当然大口径「ディープリム」を選択。20インチでリム幅10J、インセットはマイナス3。さらにリムを白でペイントし、視覚的にもディープリムをアピールすることに成功している。

そして鮮やかなガヤルドオレンジで全塗装されたボディカラーは、ガンメタを使った部分塗装でシャープ感を底上げ。エアロ開口部の内側や、リアバンスポのボトム部分、そしてボンネットからルーフにかけてボディ上部もガンメタでペイントすることで、ただ派手だけじゃない、引き締まり感の強い



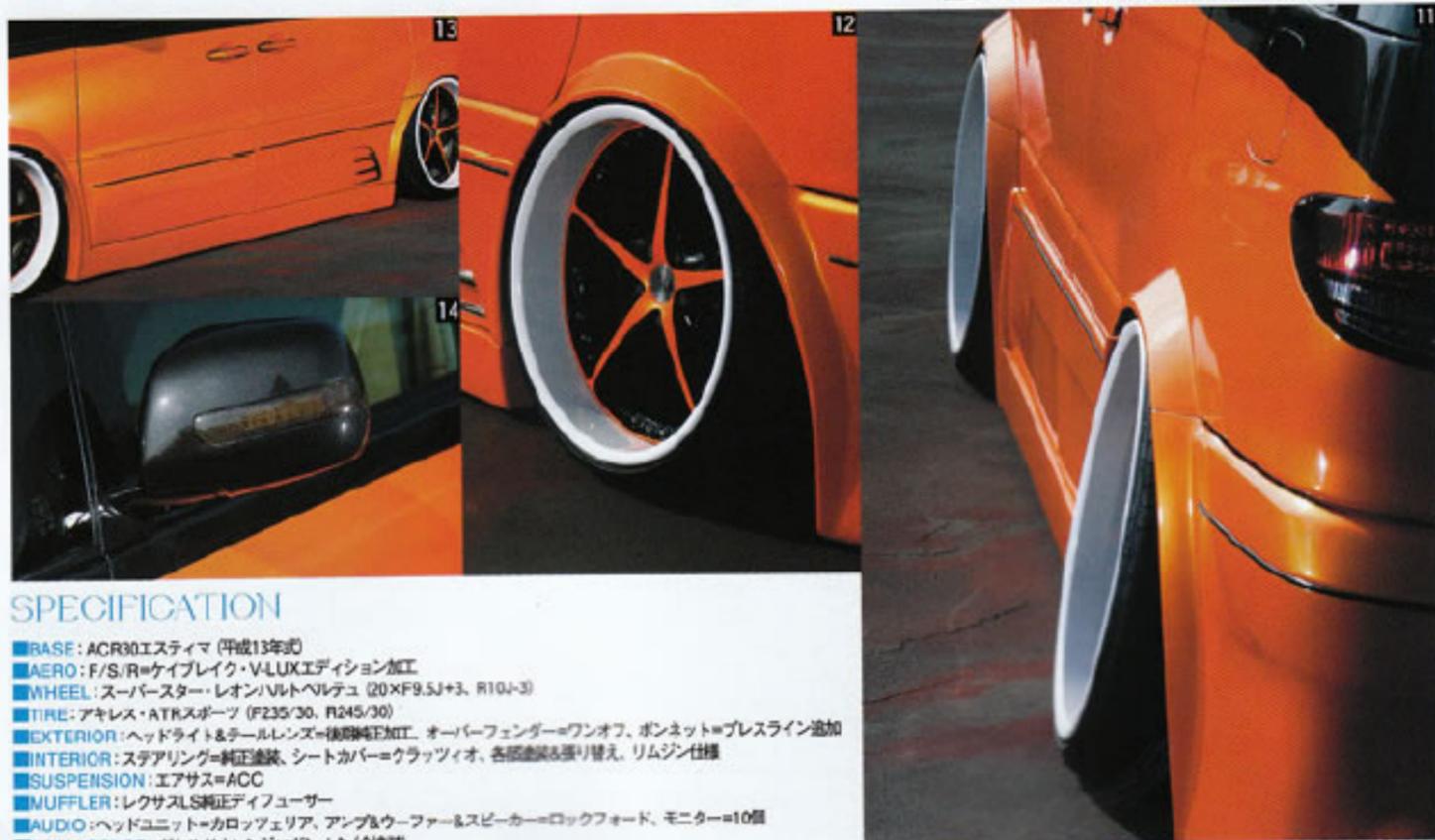


6.ケイブレイクのリアバンスポはボトム部分を下方延長。重厚感の強いフォルムを演出した。8.後期純正に交換したテールレンズは各パーツをLED化。7.両サイドめ込まれたディフューザーはレクサスLS純正を流用。アのボトム中央にはダクトとローマウントランプが通れる。ローマウントランプはRBオグツセイの純正ハイマウントランプを流用している。9.ドアハンドルは側面面ガンメタで塗り分け。10.ルーフもガンメタで塗装し、ハリ感のプラスと視覚的にローフォルムをアピールす。

ラインを強調するオバフェンと超ディープリムの20インチ!

# 全身からあふれ出るVIP魂

11.前後ともに鉄板溶接で成型されたオーバーフェンダー。リアはバンスポに向かってラインを絞り、キャンバールックを強調している。12.ボディ同色のオレンジメガンメタで塗り分けたレオン/Vルトベルテュ。艶強効果のある白でリムを塗装し、ディープリムを強調した。13.後方のドアパネ部分にダクトを追加したサイドビュー。14.ドアミラーウインカーはレンズ部分をスモーク塗装。全体のカラーリングと統一感を持たせた。



## SPECIFICATION

- BASE: ACR30エスティマ (平成13年式)
- AERO: F/S/R=ケイブレイク・V-LUXエディション加工
- WHEEL: スーパースター・レオン/Vルトベルテュ (20XF9.5J+3, R10J-3)
- TIRE: アキレス・ATKスポーツ (F235/30, R245/30)
- EXTERIOR: ヘッドライト&テールレンズ=後期純正加工。オーバーフェンダー=ワンオフ、ボンネット=プレスライン追加
- INTERIOR: ステアリング=純正塗装、シートカバー=クラッツィオ、各部塗装&張り替え、リムジン仕様
- SUSPENSION: エアサス=ACC
- MUFFLER: レクサスLS純正ディフューザー
- AUDIO: ヘッドユニット=カロッツェリア、アンプ&ウーファー&スピーカー=ロックフォード、モニター=10個
- BODY COLOR: ガザルドオレンジメガンメタ (全塗装)